

—胸水がたまってしまった甲状腺機能促進症のネコ ふくちゃん—

ふくちゃんは、がんの持病があり薬を飲み続けていたのですが、食欲があるのに少しずつ痩せていくことに気づき、以前はおとなしかったのに大きな声で鳴くようになったので、病院に連れて行き血液検査を受けました。

検査の結果は、甲状腺機能促進症のため胸水がたまっていると診断され高齢とがんの持病もあり、恐怖感やストレスを考えると麻酔注射も危険ということで針による胸水をとる治療は断念せざるを得ませんでした。仕方なく投薬による進行を遅らせる治療を選びました。

検査を続けて病状をみながら治療をしていましたが、息づかいも荒くなりなにか治療法はないかと、インターネットでいろいろ調べているときにどうぶつ気功院の気功治療を知りました。すぐに相談をして、遠隔での気功治療をお願いすることにしました。

胸水の完治は難しいという話も聞いていたので、進行の具合も緩やかになり余命を宣告された期間よりも、5ヶ月ほど延命できたのですが、最後の最後まで力を振り絞り懸命に生きた、ふくちゃんのお話です。